

GLOBAL MIND 글로벌 마인드

国際交流通信 16号 6월 8일 2016 발행 開智中学校・高等学校 国際交流委員会

32名の生徒と4名の教員は、5月28日から29日に韓国、釜山にある釜山鎮女子高等学校と養精（ヤンジョン）高等学校を訪問しました。姉妹校の皆さんから熱烈な歓迎を受け、心温まるおもてなしをいただきました。両校の生徒達は最初、緊張しながらペア対面をしましたが、だんだんと話が弾んでいき、にこやかに、楽しく過ごすことができました。2日目は慶州を一緒に訪れました。両校の生徒は同じバスに乗り、ペアの友達と韓国語、英語、日本語を交えて会話をしました。そして慶州での研修を終えた後は、ペアの生徒の案内で、各グループで自由に釜山を散策しました。地元っ子だけが知っている美味しいお店にも連れて行ってもらったようです。3日目は釜山市内をゆっくりと観光しました。それでは、ハイライトを紹介していきます。

1日目 釜山鎮女子高等学校における交流

釜山鎮女子高等学校の図書館で歓迎式を開いてくれました。まず、ヤンジョンの校長先生の挨拶があり、次に、本校中学教頭の中村先生が韓国語で挨拶をされました。初めての韓国語での挨拶にとっても緊張したそうです。続いて、4-1の高松京介君が生徒代表で挨拶をしました。流暢な韓国語で堂々と発表し、素晴らしいスピーチに両国の教員、生徒たちは感動しました。また、12名の生徒が韓国語と英語で開智高校の紹介をしました。韓国の生徒達は興味津々の様子で聞いていました。この12名の生徒達は自分でスライドを作り、一生懸命練習をしました。年々上手になり、親交を深めたいという、心のこもったプレゼンテーションでした。続いてペアの友達とプレゼント交換です。お互い、嬉しそうに交換し、あちらこちらで歓声が上がりました。スーツケースに入りきれないほどの贈り物でした。

さあ、今度はサムルノリ体験です。サムルノリって知っていますか。サムルノリ(사물놀이)は、朝鮮の伝統楽器であるケンガリ・チン・チャング・ブクを用いた韓国の音楽のことです。音楽の先生の指導のもと、合奏をして、韓国の文化に触れました。

次に、韓国の伝統衣装を体験しました。ペアの友達に着方を教えてもらい、綺麗な色の衣装に身を包み、皆で記念写真を撮りました。女子生徒はチマチョゴリを着用し、男子生徒はバジチョゴリを着ま

した。さわやかな釜山の風にゆったりとあたりながら、緑で包まれた校庭でお互い写真を撮りました。現在、チマチョゴリは結婚式の時に着る伝統的な衣服です。

夕ごはんは姉妹校の食堂で頂きました。バイキング形式で、何を食べようか迷うほどメニュー豊富でした。初めてのものも多く、わくわくしながら、頂きました。チャップチェ、キンパップ、チヂミ、わかめスープ、プルコギ、魚などがあり、お腹がいっぱいになりました。



夕食の後、男子生徒は韓国 VS 日本のサッカーをしました。はつらつと体を動かす姿はどちらも凛々しかった



です。女子は、夕日を背にして芝生に座り、楽しそうに話していました。伝統的な遊び、「だるまさんが転んだ」をしましたが、韓国では、「무궁화 꽃이 피었습니다. むくげの花が開いた(むくげは韓国の国花です)」と言います。ルールは同じでした。

2日目・3日目の研修

2日目は慶州（キョンジュ）を訪れました。午前中は、雨が少し降ってきましたが、すぐに上がり、涼しい風に誘われながら歴史ある古都、慶州を散策しました。韓国の歴史文化都市で、1995年に世界遺産に登録された石窟庵と仏国寺をペアの友達と一緒に見学しました。みんな熱心にガイドさんの説明を聞いていました。

お昼ご飯はプルコギです。ペアの友達と仲良く、色々質問しながら、



頂きました。例えば、「これは何?」「これは桔梗(ききょう)の漬物です」とキムチ以外の韓国独特の食材に触れることができました。お椀は持たない、ご飯はスプーンで食べるなど、韓国の食事のマナーも勉強することができました。



午後からは、ペアに連れられて釜山市内を案内してもらいました。一緒に買い物をして、ご飯を食べるなど濃厚な5時間を過ごした後、遂にお別れの時がやってきました。みんな、「また、会おうね」と涙ながらにお別れをし、開智生はやっとバスに乗り込みました。バスに乗ってからも、まだ泣き止まない生徒もいました。それほど素晴らしい交流ができたのだと思います。

3日目は釜山の最後の日です。生徒たちは、旅の疲れをみせず、元気一杯です。朝食後、釜山が一望できる釜山タワーに登り、続いて、釜山市民がよく訪れる魚市場であるジャガルチ市場とあらゆる物が売られている国際市場に行きました。国際市場で2時間、自由行動があったので、思う存分に買い物をしたようです。皆さん、買い物を上手にしていましたね。靴下が13足1000円で売られていたのにびっく



りです。生徒たちは、習いたての韓国語で「싸게 해주세요 (まけてください)」と言っていました。港で心地よい風になびかれながら、釜山の海を眺めました。この2泊3日の研修をしめくる最高のお天気に恵まれ、楽しい思い出と「次に会う時には、英語をもっと流暢に話せるように勉強するぞ」という意気込みを持って、午後の便で帰国の途に就きました。



この研修旅行は生徒にとっても、教員にとっても素晴らしい体験となりました。韓国で友情の輪を広げ、また、韓国の方々の優しさや温かさが伝わってきました。次に、韓国から来校される時には、心を込めておもてなしをしたいと思います。

(文責：坂口典子)